

令和4年

各会派基本方針

いばらき自民党



いばらき自民党 議員会長

白田 信夫

緊張感もって 安心安全取り戻す

新型コロナウイルスの新たな変異株が世界で急拡大する中、新しい年が明けました。

ここに改めて、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、罹患された皆様にご心よりお見舞い申し上げます。また、昼夜を問わず治療にあたっておられる医療従事者や、感染防止にご尽力いただいている皆様にご感謝の意を表する次第です。

わが党は昨年、9月の知事選と10月の衆院総選挙に勝利を取ることができました。県民の皆様のご支援に感謝申し上げます。国政では単独で絶対安定多数を維持し、第2次岸田(文雄)内閣は昨年11月、コロナへの対応と経済活動の両立に向け、過去最大規模の経済対策を打ち出しま

した。県政では、「挑戦」など3つを基本姿勢とする大井川和彦知事の2期目が始動しました。が、国政も、県政も緊張感のない政治に前進はない、と言われます。

いばらき自民党は二元代表制の下、政務調査会が政策立案機能の充実に努めています。先の第4回定例会で可決・成立した議員提出議案「ケアラ・ヤングケアラ支援条例」は、政策条例として20本目、全国トップレベルです。

また、昨年暮れには、第6波への備えと経済・産業の早期回復を中心に、新規62件、一部修正155件を含む総項目数2642件に上る令和4年度重要政策大綱を知事に提出しました。各種団体からの要望聴取や議会での議論を通じて明らかになった課題などを政務調査会、議員会で吟味しながら盛り込んだものです。

所属議員45名は、県民の安心安全な暮らしを一日も早く取り戻すため、議会活動に邁進していく決意を新たにいたしました。県民各位のご支援とご協力を切にお願い申し上げます。

県民フォーラム



県民フォーラム 代表

齋藤 英彰

生活者と働く者の立場から、共生社会の実現を

新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、罹患された皆様にご心からお見舞いを申し上げます。また、感染症と日々闘っていらっしゃる医療従事者をはじめとするエッセンシャルワーカーの皆様へ、心からの感謝を申し上げます。本県においてコロナ禍が始まってか

ら、約2年が経とうとしておりますが、新たなオミクロン株の出現と感染の再拡大が懸念されるなど、まだまだ予断を許さない状況です。長引くコロナ禍により、社会全般に大きな影響が出ており、「ウィズコロナ社会」における新しい生活様式や各種施策が求められています。

県民フォーラムとしても、こうした諸課題を生活者とともに受け止め、大井川知事に対し、感染拡大の防止や生活者・事業者への支援等に適切に取り組むよう要請を行ってまいりました。今後も、時代とともに変化する県民の皆様への生活に寄り添いながら、医療体制のさらなる強化と、コロナ禍で疲弊した地域経済の早期回復を目指すとともに、生活者や働く者の立場にたつ共生社会の実現を目指し、全力で取り組んでまいります。本年もご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

公明党



公明党 茨城県議会議員

高崎 進

命を守り、希望が持てる 安心な暮らしを

新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、罹患された方々に心よりお見舞いを申し上げます。公明党は昨年末、新型コロナウイルスの第6波に備えた医療提供体制の整備に関する緊急要望を大井川知事に提出しました。要望では、病床の確保、コロナ感染症医療連携システムを活用

した迅速で的確な医療提供体制の構築3回目のワクチン接種の大規模接種会場の設置、新型コロナウイルス感染症の後遺症に苦しむ方々への相談窓口や専門外来医療機関の整備などです。また、コロナ禍で影響を受けた産業と雇用を守る支援策や消費の回復を後押しする対策に取り組んでまいります。大規模な自然災害への対策も急務です。県民の命と財産を守るため、切れない防災・減災の施策を積極的に推進する必要があります。引き続き、地域づくりに取り組んでまいります。

私も公明党は、県民の小さな声も政治に反映するため、令和4年度茨城県予算編成に向け、332項目の政策要望を取りまとめ、昨年末に大井川知事へ提出しました。今後も、県民の命を守り、希望が持てる安心な暮らしの実現のため、全力で働いてまいります。

日本共産党



日本共産党 日茨議員団長

山中 たい子

くらし・福祉支え、憲法9条を守る共同広げます

新型コロナウイルス感染症の新たな拡大が懸念されるなか、新年を迎えました。昨年の衆院選挙・知事選挙では、命とくらしを大切に政治のあり方が問われました。県民のみなさんの願いは、医療や福祉の充実、子育て支援です。全国8位の財政力はそのために生かすべきです。ケア労働の担い手、看護師や介護士、

保育士などの賃金の抜本引き上げが必要。コロナ禍で失業や収入減、倒産・廃業などが深刻です。くらしと営業を守る最大の決め手、消費税5%への減税を求めます。本県農業を支える小規模家族農業や新規就農者へのさらなる支援が求められます。米価下落の緊急対策として、政府による米の買い上げを実施させましょう。

くらしと家計を応援することが、コロナ危機で疲弊した地域経済を立て直す確かな道です。古く危険な東海第二原発の再稼働ストップへ、力を合わせましょう。福島第一原発汚染処理水の海洋放出に反対します。気候危機の打開へ、共同を広げましょう。陸上自衛隊百里基地における自衛隊オスプレイ訓練や日米共同訓練の中止を強く求めます。憲法9条を守り生かす共同を広げます。

立憲いばらき



立憲いばらき 代表

設楽 詠美子

ひとり一人の命と暮らしに寄り添う

新型コロナウイルス感染症の流行から2回目の新年を迎えることになりました。お亡くなりになった皆様のご冥福と罹患された方、治療中の方々へのお見舞いを申し上げます。医師不足の茨城県で、医療現場の声をともに保健所機能の強化や検査体制の充実が重要です。命を守るために、医療従事者と行政がスムーズに連携し

コロナ対策を実施することを提案しております。コロナ禍により、女性の脆弱性も明確になりました。女性の自殺・貧困(生理的貧困)等の課題が明らかです。非正規雇用の多くの女性たちは職を失い、特にシングルマザーの女性たちのダメージは大きく子育て等、日々の生活に苦しさを感じています。女性の自立にむけた教育と支援、そして親の所得に関わらず、子どもたちが夢を実現できるように給付型奨学金等を提案しております。

厳しい時だからこそ、私たちは力を合わせてのりこえることが大切です。茨城家族として愛を胸に、温かい茨城県を育みたいと思います。立憲いばらきは、ジェンダーバランスの均衡した、生まれたばかりの二人会派です。ひとり一人に寄り添う温かい政治を担ってまいります。ご指導よろしくお願いいたします。